セントケア・グループ　福祉の街

レンタルふくしのまち鴻巣便り

Vol.93
2026年10月号
☎ 048-543-5848



福田　昌弘【所長】
（ふくだ　まさひろ）

久しぶりに読書㉔

最近読んだお勧め本のご紹介です。
地雷グリコ　青崎　有吾　著　　角川書店
私がこの本を単行本で購入した当時は3冠達成の状態でしたが、今年の6月に文庫化された時点では9冠達成という驚異の作品です。
TVで好きだったライアーゲームを思い出し、たまには頭脳戦バトルの本を読んで、頭をフル回転させようと読んだ作品です。
気になる方は是非読んでみて下さい♪





加藤　忠志
（かとう　ただし）

そろそろ

7月の下旬に涼しくなってきたら、やってみようと思い購入した水草の栽培キットです、以前にテレビで見たアクアリウムや水槽を見て気になり、流石にそこまでは、できないので初心者にもできる簡単なものですが、いまだに始めていません、このままだと、箱のまま飾る事になりそうです、どなたか、こうゆう物を趣味でやっている方は、いますか？いたら教えて下さい。





阿部　友亮
（あべ　ともあき）

不思議な世界観

先日、夫婦でちいかわパークへ行ってきました！
私は付き添いみたいな感じで連れて行かれました（笑）
平日なのに人も多く、今映画もやっているのでその影響もあり、人気が凄まじいのかなと思いました！中は写真スポットが多くて、ちいかわの世界に紛れ込んだ気分になりました♪グリーティングはセイレーンが目的で目の前で島次郎に変わってしまい、すごく残念がっていました（笑）





波田野　正
（はたの　あきら）
理学療法士

広島のおすすめ観光スポット

8月号で広島県江田島市にある「クリスタルロード」の画像（AI作成）を載せましたが、先日、実物を観てきました。あいにくの曇りでクリスタルのような綺麗さはありませんでしたが、海の中を歩いているような非日常感を味わう事ができました！海を見てると立派なクロダイのような魚影もあり、思わずお寿司が食べたくなる素敵な観光地でした。また晴れた日にリベンジしてみたいですね☀





↑今月のお店の地図情報☆

秋麗の候、どことなく湿気の質も変わり駅のホームに秋の香りすら感じられる折、姿は舞い散る銀杏木の葉の如く黄金にて心には紅葉の葉の紅の如く鮮烈な彩りを灯したるものは…そうです、甘いものです！

写真は、群馬県高崎市八島町222イーサイト高崎2F、高崎駅ビル内の改札を出てから1分掛からない程度の場所にございます、ジャージー牛のミルクと発酵バターが主役の専門店『神津牧場』さんの超人気メニュー、『神津ゴールドバターソフト（税込￥650-）』です。ここに来てまさかの2ヶ月連続でソフトクリームを紹介という暴挙に会場（？）のどよめきも収まりませんが、実は先ほど紹介しました『神津牧場』の高崎店さん、2026年の8月6日にオープンしたてとの事で、言わば今が一つの旬というものッ！！それもあって弊スマホのタイムラインに斯様にトンデモネースイーツの情報に転がり込んできたのだから、そりゃ～あもう食べに行くのが華というもの！然らば記事の内容が2ヶ月連続でソフトクリームになることも致し方なし！引かない！！媚びない！！顧みない！！！言い訳もそこそこに本題のソフトクリームに触れていきますが、最近よく見るようになってきたこの独特な形状のソフトクリーム（『花びら型』と言われるそうです）を覆う金の輝き…先程紹介したこのソフトクリームの名前から否が応にでも察せられる黄金の正体は、バター！！なんとこれ、溶かしたバターの入ったお鍋に作り立てのソフトクリームを頭からダンクしてバターコーティングをした逸品なのです！あ、あ…アリなんだ！！そういうの！！！何らかの現行法令に抵触していないか思わず心配になっちゃうレベルの罪深さを感じる逸品ですが、いざ食べてみるとその味わいと口当たりは繊細そのもの。冷え固まったバターはパリッとしながらも唇で割り溶かせてしまう様な滑らかさで、そんなバターの塩味が濃厚なミルクソフトの雅な味わいの中でアクセントとなっているものの、油分のようなベタつきやジャンキーな鋭さ・雑さは一切感じず、もはや爽やかさすら感じる程にサラサラと舌の上を通り過ぎていくよう…ッ！この感覚、さながら牧草を撫でていく穏やかな秋風の如しッ！！そもそも、日本に名だたる牧場の直営店だけあって、バターもミルクソフトも勝利が約束された品質なんですよね～！！！優勝ッ！！！！（？）さて、このゴールドバターソフトなのですが実は一日に限定50個しか売られない超貴重品！平日でも早いと開店40分程度で売り切れてしまう事もあるとか…！とはいえ、他にも神津ジャージープリンソフトや神津プリンゴールドバターのせ、神津ジャージーミルクフラッペなど、目を離せないアイテムが目白押し！瞬きすれば終わりかねないこの秋に、眩いばかりの黄金のひとときを、このお店で…是非！



黒沢　紫雲
（くろさわ　しうん）
義肢装具士

